



小平二中だより

令和7年度 第14号
発行 令和8年3月19日
小平市立小平第二中学校
校長 吉田 功



1年間、ありがとうございました

校長 吉田 功

桜開花の知らせが届き始めています。本校でも北校舎北側の桜が昨日開花しました。このような中、本日第69回卒業式を迎えました。卒業生の皆さん並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、在校生の皆さん並びに保護者の皆様、少し早いですがご進級おめでとうございます。今年度の1年間について、特に3年生の活躍に注目して三つの視点から振り返ってみたいと思います。

まず一つ目は、S組開級に関してです。今年度開級したS組は小平二中に新たな歴史を残しました。教室などハード面のことも大切ですが、これまで在籍していた生徒たちが新たに加わる仲間たちを快く受け入れてくれるのかというソフト面が重要です。その面でRIKUTAIの3年生大ムカデの場面で見せてくれた全校が一体となつての応援や合唱コンクールでの拍手はとても心温まるものでした。

二つ目は、社会科での投稿チャレンジに関してです。今年度着任した芝田非常勤教員の指導の下、新聞の投書欄への投稿を行いました。私も過去に一度だけ掲載されたことがあります。たった200文字ほどで自分の考えを分かりやすく書くことはとても大変です。こうした中、本校ではなんと72名の投稿が採用されました。もちろん実名も出しています。昨今、匿名をいいことに好き勝手な意見を出す風潮もありますが、自分の名前をきちんと出し正々堂々と意見していることが素晴らしいと思います。

三つ目は、本校で二年間取り組んだ非認知能力向上に向けた研究に関してです。非認知能力は数値化することが難しいのですが、毎年3年生が取り組む全国学力・学習状況調査及び生徒質問紙調査の経年変化を見てみると、研究前と研究後では、全国や東京都の平均値を超えた項目の数が倍増しました。また、劣っていた項目でも数値が改善されました。

来年度は、第13号でもお知らせした「幸せホルモン」増加をテーマに、日々のこどもへの挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけを通して、こどもの成長・発達を支える発達支持的生活指導を意識するとともに、キャリア・パスポートの活用、情報モラルに関する学習の充実、学習の「個別最適化」推進、地域の方とのつながりを意識した避難所開設準備委員会と連携した避難訓練などに取り組んでいきます。そして、生徒・保護者、地域から信頼される学校になるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト

3月12日(木)の5・6校時、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」のために、株式会社劇団芸優座の皆様にお越しいただきました。当日は、演劇「The Last Leaf～O. ヘンリー物語」の本格的な舞台を学校で観劇することができました。生徒は、大がかりな舞台やよく通る演者の声に驚き、演者の動きや話の内容に引き込まれていました。芸優座の皆様には、準備・公演・片付けと1日お世話になり、貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

(進路指導主任 宮本 貴史)

◆ 1年を振り返って ◆

【1学年】「楽しいことよりも正しいことを」この1年間で、多くの成長が見られました。RIKUATI、合唱コンクール、スキー教室では、あきらめずに仲間や担任と協力したり、ときにはクラスメイトとぶつかったりしたこともありましたが、それもまた次への段階につながるものとして成長のきっかけとなっていました。また、給食準備や授業前の着席などの周囲への声掛け、困った人を見付けると声をかけたり手助けしたりする気遣いなど、心の面で大きく成長したと感じています。次年度後期からは学校を中心となるべく、様々な活動を通して指導を進めてまいります。今年1年間ありがとうございました。
(1学年主任 石田 拓海)

【2学年】この一年間で生徒一人一人が、それぞれの課題と向き合い、挑戦することができました。また、多くの生徒が、班や学級で自分の役割を把握し、仲間のために行動する姿が見られました。自分のことだけでなく、仲間との関わりの中でたくさんの収穫があったと思います。この力を最上級生となる三年生に向かって活かしてほしいと願っています。
(2学年主任 布内 聡司)

【3学年】3年生は、先輩から「二中ブランド」を受け継ぎ、最上級生として何事にも全力で取り組んできました。何でも上手にこなせる学年ではなかったと思いますが、それを超える「温かい心」と「仲間を大切にする心」、「チームで課題を乗り越える力」をもった3学年教員にとって自慢の生徒でした。3年生のこれからの幸せな人生を願っています。
(3学年主任 高寺 徹)

【G組】G組では、最後の集大成として、3月6日に卒業を祝う会を行いました。会場設営や司会など、全て生徒が主体的に取り組みました。卒業生の決意のスピーチでは、これまでの感謝の気持ちや将来への夢をしっかりと話すことができました。それぞれの成長を感じる会になりました。3年生は、下級生に立派な背中を見せてくれました。在校生の今後の成長も期待しています。
(G組主任 峰野 愛子)

【S組】開級初年度として、通常学級やG組と連携し、相談しながら教育活動を進めていきました。在籍数は8名ですが、一人一人個性豊かで、それぞれが技をもっている集団であり、様々な時間で発揮してくれました。RIKUTAI や合唱コンクールでは、生徒の応援に後押しされ、力を発揮できたと思います。来年度は、学級の人数が増えます。来年度もご協力ください。
(S組主任 五十嵐 武史)

【生徒の活躍】

【女子バレーボール部】

10ブロックバレーボール1年生研修大会
Cリーグ 第1位

【テニス部】

3月ブロック冬季大会団体戦
女子Aチーム 優勝
女子Bチーム 準優勝

【演劇部】

創作劇「私と彼女の歌が、君にどう届いたのかわからない」公演
3月2日(於:小平市小川町二丁目児童館)



授業や学校行事の様子については、学校ホームページの「学校日記」(右側のQRコード)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

